



芦屋市自立支援協議会 令和5年度 実務者会 報告



令和5年度実務者会報告

令和5年度実務者会 今年度の取組み



令和5年度実務者会 評価について

実務者会の役割としての「評価・検証」が昨年度まで実施できなかった。
令和5年度は「評価・検証」を実施した。



令和4年度の「評価・検証」の実施

第1回目の実務者会において、令和4年度の取組み「居場所づくり」について、令和3年度の座談会で出た取組み根拠の「困りごと、要望」に対して、専門部会での取組みによる達成度を実務者会構成員で評価した。

令和5年度の構成員が、これまでの経緯の理解が不十分な中で過去の取組みの評価となったが、今後の「評価・検証」のあり方について考えていくための材料として実施した。



令和5年度の「評価・検証」の実施

- ① 年度末に振り返りを行うために実務者会の構成員が令和5年度専門部会に傍聴参加した。
- ② 実務者会の振り返り材料として、第1回目の評価方法を用いて専門部会の構成員に今年度の取組みを評価してもらった。

実務者会、専門部会として「評価・検証」について議論の必要性を確認できた。
評価ツールのあり方について、評価の目的についてなど検討が必要。



令和5年度実務者会 次年度の取組み

1 実務者会・専門部会のあり方について検討

新システムになって3年経過した。現在の芦屋の実務者会、専門部会のあり方について振り返り、柔軟な発想で芦屋の部会制度について改めて検討。

令和6年度構成員体制について

令和6年度の実務者会構成員は基本的に令和5年度の構成員により継続し、

- 今の仕組みづくりに携わった方
- 新しい目線を加えるために今まで参加したことのない新たな構成員

をそれに加えて協議を進める。

2 今までの取組みの効果について振り返り

過去の自立支援協議会の取組みについて効果があったのか振り返り、総括する。

3 座談会の継続

芦屋ならではの課題抽出の仕組み“座談会”も定着しつつあるので、この取組みは継続。

令和6年度実務者会の進め方

令和5年度第5回実務者会の振り返りを踏まえて議論継続し、改めて今年度の方針、目標を検討する。
そのうえで年間計画・開催回数などについても検討

